

公益社団法人

福岡県作業療法協会会報

第113号 平成25年10月15日発行

(事務局)

〒802-0816 北九州市小倉南区若園2丁目6-21 ルミエール若宮101号

TEL 093-952-7587 発行責任者 志井田 太一 編集責任者 菅沼 一平



特集：作業療法士がいない国で作業療法士として活動した2年間
～ 大切なものは何かを考え得たものとは ～

目次

巻頭言：【社会保障のゆくえ】

公益社団法人 福岡県作業療法協会 副会長 座小田 孝安

会長行動 . . . 1

特集：作業療法士がいない国で作業療法士として活動した2年間
～ 大切なものは何かを考え得たものとは ～

早良病院作業療法士 田中千里 . . . 2

平成25年度 第3回 公益社団法人福岡県作業療法協会 理事会議事録 . . . 6

各部委員会からのお知らせ . . . 9

全国地域作業療法研究大会 第19回学術集会 in久留米 . . . 14

第18回福岡県作業療法学会の開催のご案内 . . . 17

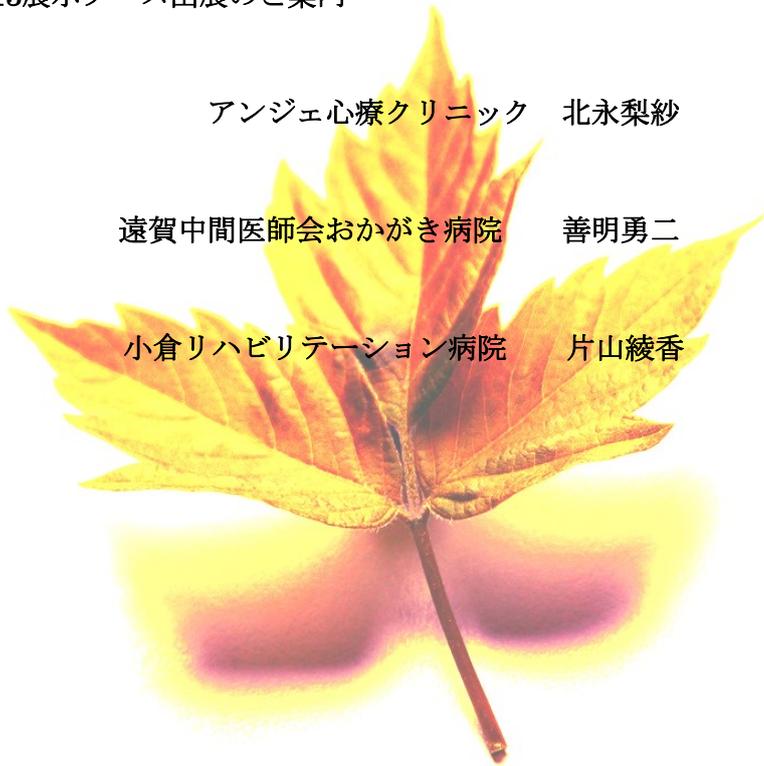
西日本国際福祉機器展2013展示ブース出展のご案内 . . . 18

Occupation アンジェ心療クリニック 北永梨紗 . . . 19

リレーエッセイ 遠賀中間医師会おかがき病院 善明勇二 . . . 20

小倉リハビリテーション病院 片山綾香 . . . 21

会員動向調査 . . . 23



巻頭言 【社会保障のゆくえ】

公益社団法人 福岡県作業療法協会 副会長 座小田 孝安

前回の竹中副会長の「障害者差別解消法」に続いて制度関係の話になります。それだけ、日本が社会保障の問題にさまざまな方面から直面しているということだと思います。

昨年末から行われた社会保障制度改革国民会議が約8ヵ月の期間を経て平成25年8月6日に報告書が提出され、これをもとに政府は8月21日に閣議決定しました。次期国会に提出されることになっていますので今後法制化が進められると思われまます。

報告書の内容は第1部では、社会保障改革の全体像を第2部では個別の改革について提案されています。

第1部では人口の高齢化が急速に進んでいく中で持続可能な社会保障制度を確立するために自らの生活を自ら又は家族相互の助け合いによって支える自助・自立を基本として、これを相互扶助により助け合う共助によって補完しそのうえで対応できないものを国が中心となって公助によって生活を保障するという考えです。

第2部は「少子化対策」「医療」「介護」「年金」の4つの社会保障について改革を提言しています。この4つの社会保障については子育て世代の多い「個人」としても、また将来必ず訪れる年金世代としても、さらには作業療法士として医療や介護で「仕事」をする上でも大きな関係を持つ改革であると言えます。「医療」と「介護」を簡単にまとめると、医療では高齢化の進展、高度な医療の普及等による医療費の増大が進んでいく中で国民皆保険制度を維持し必要な改革を行い、介護に関しては個人の選択を尊重し介護予防などの自助努力を行う仕組みの検討を行います。保険料や利用料などの応能負担も盛り込まれており、給付の重点化・効率化を更に求めて行くこととなります。

今回の国民会議の報告書には前述のとおり「自助・自立」を基本にすることが最初に挙げられています。改革が進められていく中で「応用的動作能力・社会的適応能力の回復を図る」われわれ作業療法士が果たせる役割は多いと思われまます。社会保障改革が進められるとともに社会に必要な作業療法として成長していくことが「個人」としても「組織」としても非常に求められていることを自覚する必要があると思われまます。

会長行動 (平成25年7月～9月)

- 7月18日 平成25年度第1回福岡県高次脳機能障害相談支援体制連携調整委員会
出席
場所：福岡県吉塚合同庁舎
- 7月20日 川島隆太教授講演会&パネルディスカッション 司会
場所：柳川リハビリテーション学院
- 8月 3日 平成25年度第3回日本作業療法学会運営委員会 出席
場所：日本作業療法士協会 事務所
- 8月 5日 平成25年度第3回福岡県作業療法協会理事会 出席
場所：らそうむスポーツガーデン
- 8月18日 日公益社団法人 福岡県社会福祉士会設立20周年記念式典 出席
場所：八仙閣本店
- 8月27日 平成25年度「作業療法の日」朝日広告記事 打合せ
場所：北九州市立総合療育センター



特集：作業療法士がいない国で作業療法士として活動した2年間

～ 大切なものは何かを考え得たものとは ～

早良病院 作業療法士 田中千里

【はじめに】

平成22年1月より2年間、私はベトナム南部メコンデルタ地域にあるティエンザン省ミトー市の総合病院にて作業療法士として青年海外協力隊活動を行った。ベトナムといってもどのような国なのかご存じでない方も少なくないと思うので、まずはベトナムについて少し紹介したいと思う。ベトナムは東アジア諸国の一つで、人口は約8252万人、政体は、社会主義国家の国である。北部・中部・南部と大きく3つの地域に区切られており、様々な民族が存在する多民族国家としても特徴的だ。現在、ベトナムには働き盛りと言われる年代の人口が多くなっている影響もあり、様々な分野で高度成長期と言われている。日本をはじめ、外国企業が次々に進出しており、都市部に限っては高層ビルやショッピングモールが次々に増設されている(図1ab)。地方に比べ物価も上昇しており、地方から出稼ぎにくる人も少なくなかった。また、ほとんどの大学や大手企業は都市部に集中しており、地方にいる若者が都市部へ移っていくため、地方の過疎化も大きな問題になっている。特に、病院では看護師などの人手が足りずマンパワー不足というのも大きな課題として挙げられていた。一方、地方の環境はというと、道路も家屋環境も整備されていない状態で高層ビルなどももちろんみられない。交通手段のほとんどがバイクのため、都市部に比べバイクの比率が多い。物価は都市部に比べ安いので給料も低く、本職以外に副業を営み生計を立てているのが現状だった。地方の家屋では、入浴は主に水シャワーで、トイレも便器がなく壁に穴があいているだけのところもみられた。このように地方と都市部では経済面、環境面において格差が著しかった。



図1b ホーチミン都市部の様子

【ベトナムの施設】

次に、ベトナムの施設について紹介しようと思う。まずは、ベトナムの養護学校に関してだが、各地域にそれぞれ学校は設置されており、その環境は地域によってそれぞれ異なっていた。今回は、ミトー市にある養護学校について紹介したいと思う(図2)。ベトナムの養護学校も日本と同様、誰でも入学できるわけではなく様々な条件が定められている。第一条件としては身の回りのことはだいたい自分でできること、やはりトイレの自立は絶対条件である。そのため、在学している生徒のほとんどは聾や盲目の子や友達に肢体不自由の子供はほとんどみられなかった。生徒は18歳の卒業までに、就労につなげるための様々な技術を学び社会参加を目指している。ベトナムの民族衣装のアオザイの模様を一生懸命作っていたり、ベトナムのお土産グッズとしても人気が高い巾着袋の模様など様々な刺繍技術を学んでいた。卒業後はその様な裁縫技術を生かして生計を立てている生徒も多いようだ。



図1a ホーチミン都市部の様子



図2
ベトナムの養護学校の様子

【病院紹介】

次に、私が活動していた病院について紹介したいと思う(図3)。日本でいうところの県立病院で、ベッド数は750床、医師は150名、看護師400名、その他スタッフ100名在職しており、1日の外来患者数は1000~2000人にまでおよぶ大きな病院だった。その中でリハビリテーション科にはリハ医師1名、理学療法士(以下PT)11名が在職している。

今回、私が配属された経緯だが、ベトナムではPTのみしか存在しないこともあり、十分な日常生活動作(以下ADL)訓練は提供できていなかった。このような背景から、院内でも機能的な回復のみでなく日常生活につなげていくリハの必要性を問われ始め、リハ医師から作業療法士(以下OT)の要請依頼があり今回の派遣に至った。



図3 配属先の病院



図4 病棟の様子

【ベトナムの医療事情】

ベトナムでは、看護師は医療行為のみを提供するため、セルフケアなどはすべて家族が付き添って介

助しなければならない。そのため、病院には患者だけでなく家族も一緒に寝泊まりしており、いつも病室は人だかりで誰が患者か分からないことも少なくない状況であった。また、入院期間は平均10日前後で退院となる。日本のように急性期・回復期・維持期に区切られているわけでもなく転院して重点的にリハビリ(以下リハ)ができる機関もないため重度の障害を有してリハが必要な場合や回復期時期であっても状態が落ち着けば退院となり、在宅で家族が介助を行うことになる。人によっては自宅で平行棒を作ったりプーリーを設置したりと自分たちで器具を作って自力でリハビリを行っている人もいた。その様な姿をみてベトナム人の向上心や適応力というものを強く感じた。経済的に余裕がある人や病院の近くに住んでいる人に関しては外来リハを受けている人もいたがごくわずかであった。また、たとえ入院していたとしても十分にリハを受けられるわけではなく、患者に対してPTの数が少ないため、リハ室まで来室できない患者に対してはリハが必要な状態であってもベッドサイドリハは一人1回のみしか受けられないという現状があった。自分が思っていた以上に患者に十分なリハビリを提供することは厳しい状況であり、その環境の中でいかに作業療法を展開していくかが大きな課題であった。

2年間という決められた期間で言葉もろくに分からない状況から、どれだけ貢献できるのか分からなかったが、一つ一つ状況を整理していきながら自分にできることを考え、かつ患者や患者家族、そこに携わるスタッフを縁の下から支えていく事を念頭に活動に取り組んだ(図5)。

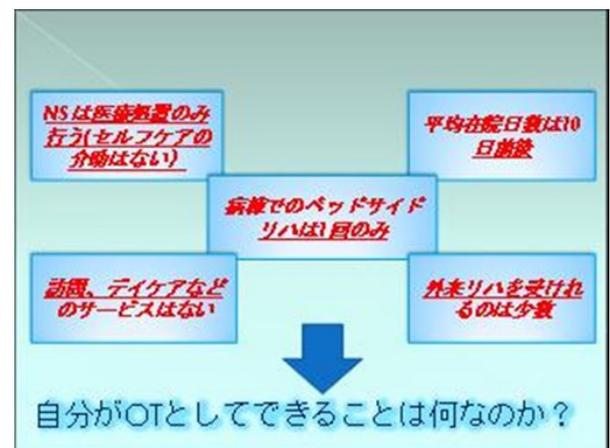


図5 ベトナムにおける地方の医療事情

【作業療法実践】

さて、ベトナムのPTだが、PTといっても日本のように就学期間が3~4年間あるわけでもなく、十分な臨床実習期間を経ているわけでもない。2年間で基礎的な知識を学び、集団で見学実習を何日間か受け卒業すればPTとして働くことができるのだ。そこから主要都市にある大学に通える人は更に2年間専門知識を高め学士を取得する人もいるが、学費もかかることから学士を取得している人はごくわずかである。私の配属先でも学士を取得者は1名で、他は現在学士を取得するために通学しているPTが1名いるだけであった。

通常の2年間の就学だけでは、やはり知識や技術には不十分な面もみられていたため、そこにも目を向けていかなければならない現状もあった。その様な現状を踏まえ、2年間で行った主な活動内容は、①患者に作業療法の提供、②同僚への勉強会、③家族勉強会、④訪問リハビリ、⑤作業療法室の環境設定などを行った。①に関しては、だいたい3単位から4単位分の時間でリハを提供した。作業療法的なADL訓練と言うよりは急性期であるかつ短期間であるため機能的な訓練が中心になっていたように思う。また、日本のようにPT・OTが分かれていないためすべて一人で実施しなければならなかった。どちらかというPTが力を入れている歩行や階段昇降の訓練も積極的に介入していた。②に関しては、2ヵ月に1回のペースで開催した。まずは、解剖学から運動学など基礎知識から評価の仕方やハンドリングなど臨床で活かせるような内容を実施した。なるべく分かりやすく伝えるため手作りで肩関節の模型を作ったり、映像を活用しながら実施していった。

③に関しては、2年間の活動の中で最も力を入れた活動である。前述のように、ベトナムで医療スタッフが患者に関われる期間は非常に短いことから私達療法士ができることには限界があり、必然的に在宅で介護する家族の役割は大きくなる。このことから在宅生活を見据えた家族指導は極めて重要であり、手厚い家族指導は患者のADL自立度や生活の質(QOL)をも左右すると考えた。企画・実行にあたっては、将来的には現地の人に引き継いでもらうため、現地の職員が主体的に動いてもらうように留意した。勉強会の項目は、片麻痺の更衣方法から基本動作の介助方法、簡単にできる関節可動域訓練を実施した。当初、様々な知識を得てもらおうと色々な項目を実施していこうと考えていたが、まずは勉強会の定着を図ることを優先的に考え、毎回新しい内容で実施していくのではなく、決まった項目を2ヵ月に1回のペースで繰り返していくことで勉強会の進行に慣れてもらうようにした。ベースとなる資料や基本的な方法に関しては私が考案し、当日の司会進行は現地の職員に実施してもらった。司会進行は毎回同じ職員が実施することで自分のスタイルを確立してもらうことを期待した。大きな間違いでなけれ

ば特に口出しはせずに、自分たちが開催したという達成感を得てもらえるよう留意した。勉強会に参加した患者家族はとても熱心で、勉強会導入時は緊張して消極的な面も見られたが、回数を重ねるごとに積極的な姿勢がみられるようになった(図6)。このように定着に向けて活動していたが、忙しくなる事や面倒くさいと思う仕事に関しては、例え必要だと思っていともなかなか自発的に継続してくれない傾向にあり定着は困難な状況であった。しかし、あえて開催することに対して無理強いはしなかった。これから先いつになるかは分からないが、現地の職員から勉強会の必要性を感じた時に、自発的な行動をおこしてくれる日が来ることを信じ、その時に今回のことを思い出して活用してくれればというスタンスでいた。



図6家族勉強会で講義する同僚

④の訪問リハビリに関しては、バリアフリーの環境ではないベトナムで患者が生活するという課題は多く苦難を要した。屋内環境は段差が高いため上り下りが困難であったり、ベッドが高すぎて多介助を要したり、トイレは和式で離れに設置されているところも少なくなかった。生活環境に関しては現地にあるもので工夫して昇降台を作成したり、できるだけ介護負担にならないよう介助方法の指導を行ったりしていきながら介入していった。余談になるが、訓練後にはベトナムの家庭料理をご馳走してもらいコミュニケーションを図りながらベトナムの家庭の風習を体感できたりと私にとってはいろいろな意味で刺激的な訪問リハであった。⑤の環境調整は、プラットホームがなく高さが高く幅が狭い治療台しかなかったため、プラットホームに似たベッドを作製してもらった。その他、昇降台やおもちゃなども調達して環境を整えた。また、評価用紙がまったく機能しておらずカルテもなかったため、評価用紙を新たに作成しカルテを作成した。しかし、カ

ルテ記載も評価用紙への記入も習慣化されていないところで継続して実施してもらうのは大変難しく結局私しか書いていない状況であった。これは、私の後任である隊員に託した課題でもある。

様々な活動について述べてきたが、基本的にここでの活動はすぐに結果を求めるというよりは、自分が様々な種をまいていき、いつの日かその種が開花してくれればいいという思いで取り組んでいた。



図7 自宅での歩行訓練の風景

【終わりに】

ここ数年のベトナムでは、JICAやNGO団体などの様々なプロジェクトが関わっており、リハビリだけでなく医療分野においても質を高めるための活動が進んでいる。まだまだ十分な医療を受けられない地域もあり、様々な課題も残っているが、走り続けるベトナムの今後の発展には大きな期待がもてると感じている。作業療法に関しては、ベトナムにも作業療法士の養成校も設立されればより多くの人に十分なリハビリを提供できるのではないかと考える。

ベトナムで学んだことは、帰国後にいった被災地のボランティア活動でさっそく生かされた。何かを提供することは簡単で、その場は成功したように思われる。しかし、最も大切なことは自分が帰ったあとでも続けられるような関わりをもつことと思う。狭い仮設住宅での生活、余震が起こるたびに不安になり緊張がほぐれない生活を送っている被災地の人たちが、自分でリラックスする方法や肩こりや腰痛を少しでも予防できるように体操教室を開催した。開催するにあたって様々な人から協力を得て実行することができた。そのような人と人とのつながりの大切さを改めて考えることが出来たことも、今回ベトナムで学んだことの一つなのかもしれない。



平成25年度 第3回 公益社団法人福岡県作業療法協会 理事会議事録

- I. 日 時 : 平成25年8月5日 (月) 19時00分～23時00分
II. 場 所 : 株式会社 らそうむ スポーツガーデン
III. 理事総数 : 20名
IV. 出席理事数 : 18名
V. 出席者氏名 : 志井田太一, 竹中祐二, 座小田孝安, 中川昇, 白山義洋, 丹羽敦, 深町晃次, 田中真純, 菅沼一平, 榎本孝史, 福田裕樹, 濱本孝弘, 佐藤稔, 轟木健市, 大田登志樹, 平岡敏幸, 玉野和男, 大社学美, (以上, 理事) . 吉田秀樹 (以上, 監事) . 鐘ヶ江秀俊, 田邊慎一, 藤崎実知子 (以上, 事務局) (敬称略)
欠席者氏名 : 手島智康, 中山仁, (以上, 理事) 原口健三 (以上, 監事)

VI. 議長選任

定款第32条に基づき, 議長に志井田代表理事を選任した.

VII. 審議事項

会員の入会について

中川事務局長から, 会員の入会について報告があった. 平成25年4月1日から7月31日までの間に136名の入会 (うち13名は県協会のみ入会) があり定款第7条に基づき入会が承認可決された.

VIII. 協議事項

正会員の休会制度の創設について

日本作業療法士協会の休会制度が開始されることに伴い, 志井田代表理事から, 県協会の休会制度創設について提案があった. 吉田監事から, 休会中の会員の権利など明確にしておくべき内容について助言があった. 来年度からの運用を目標に規約委員会と事務局が中心となり内容を継続検討していくこととなった.

作業療法雑誌広報について

菅沼広報部担当理事から, 作業療法雑誌広報企画として“シティ情報ふくおか別冊頼れるドクター福岡・佐賀版”への記事型広告掲載についての企画提案があった. すでに今年度事業として理事会承認は得られているが, より具体的な企画内容として, 媒体情報についての報告, 記事内容, 取材方法, 発行までのスケジュール, 概算費用などについて提案があり協議の結果承認された.

作業療法啓発方法について

榎本事業部担当理事から, 作業療法の啓発方法として協会のロゴマークやTシャツ, イベントに使用するぬいぐるみ, 広告掲載の方法などについて, イベント企画会社が作成した企画書の提案があった. 啓発方法や広報事業は, 企画部・広報部の事業とも重複する内容であり事業部の本来の事業内容を執行しながらどのように行っていくか, 各部の事業内容の再確認と調整が必要であるということで継続検討していくこととなった.

S I G新規認定申請について

白山教育部担当理事から, S I G申請 (2件) があったことについて報告があり認定基準を満たすことが確認され承認された.

事業報告書類等の書式について

中川事務局長及び事務局鐘ヶ江氏, 藤崎から, 事業報告書・理事会提出資料・会議議事録など書式についての提案があり協議の結果, 今年度中の整備運用を目標に試用・継続検討していくこととなった.

IX. 報告事項

(代表理事より)

代表理事行動（平成25年6月～平成25年7月）

平成25年度第2回公益社団法人福岡県作業療法協会理事会 出席

都道府県作業療法士会連絡協議会 総会 出席

平成25年度九州支部会 出席

平成25年度役員会 出席

第47回日本作業療法学会 参加

平成25年度第1回高次脳機能障害相談支援体制連携調整委員会 出席

川島隆太教授講演会&パネルディスカッション 司会担当

平成25年度より九州支部会支部長に長崎県士会沖会長が就任。

日本作業療法士協会が推進する以下の事業について県協会でも協力・普及準備をすすめている。

- ・生活行為向上マネジメント
- ・認知症初期集中支援チーム
- ・特別支援教育への専門家活用事業
- ・がんのリハビリテーション研修企画者研修会

日本作業療法学会について以下のスケジュールで開催が予定されている。

第48回 会期：平成26年6月18日（水）～21日（土）WFOT学会と同時開催

会場：パシフィコ横浜

第49回 会期：平成27年6月19日（金）～21日（日）

会場：神戸国際展示場

第50回 会期：平成28年9月

会場：未定（札幌市内）

(各部・委員会より)

〈教育部〉

主催研修会開催報告—精神科分野研修会（参加者59名）、地域分野研修会（参加者31名）

予定報告—分野別研修会、生涯教育関連研修会

日本作業療法士協会生涯教育制度改定への対応として、県協会ホームページ掲載用の広報文の作成など準備をすすめている。研修会の受講記録が本部協会のサーバーで一元管理されることに伴い、県協会から音琴氏（小倉リハビリテーション学院）埴野氏（事務局）の2名に登録責任者を依頼した。ポイントの付与や事例報告の履修申請方法など運営の詳細についても検討中。

〈学術部〉

第18回福岡県作業療法学会開催の進捗状況について報告。タイムテーブルや市民公開講座、ブース企画案などの報告があった。今回の学会では、第一線で輝いている30～40代の作業療法士を講師としてお招きし、県協会の未来を担う人材を育成することを目的とした“未来講演”と題した講演を準備中である。

〈渉外部〉

公益社団法人福岡県介護支援専門員協会総会及び理事会、新役員懇親会出席（6月9日）。

公益社団法人福岡県介護支援専門員協会理事会出席（7月4日）。

飯塚市地域医療連携協議会出席（7月17日）。

飯塚市高齢者対策推進協議会出席（7月31日）。

〈広報部〉

県協会ホームページコンテンツ及びレイアウト変更、作業療法のPR動画の進捗状況について報告。ホームページには「自助具の作り方」などを掲載するよう準備をすすめている。

〈保健福祉部〉

活動報告—高齢者支援企画会議開催。認知症講師育成企画会議開催。特別支援教育対

策委員会開催。久留米市セーフコミュニティ推進委員会出席。
活動予定—生活行為向上マネジメント研修会について基礎研修を平成25年10月27日（北九州会場）12月8日（筑後会場）で開催する。また実践編研修会も企画予定している。
認知症初期集中支援への対策として、現在の認知症講師育成委員会を認知症初期集中支援対策委員会とし、日本作業療法士協会から情報収集しながら積極的に活動していく体制を作っていく。組織作りとして各ブロック担当理事に1～2名の代表者の推薦を依頼した。
都道府県士会合同役職者研修会（平成25年7月27日東京にて開催）に濱本保健福祉部担当理事が出席。地域包括ケアシステムにおける作業療法士に期待される役割について報告があった。

〈規約委員会〉

平成26年度日本作業療法士協会表彰推薦候補者に対する経過と規約集作成の進捗状況について報告があった。

〈保険委員会〉

平成25年度訪問リハビリテーション研修会開催の進捗状況について報告。保険委員会主催研修会を平成25年12月15日に企画準備中。

〈企画委員会〉

今後の企画委員会の活動について報告。企画委員会は県協会の将来構想や作業療法の啓発などの活動を行っていく。西日本福祉機器展2014のブース出展への準備状況について報告。

（各ブロック担当理事より）

〈筑後ブロック〉

活動報告—事業企画会議開催，研修会開催，懇親会開催
活動予定—事業企画会議開催，研修会開催，懇親会開催，現職者共通研修事例報告会開催

〈福岡ブロック〉

活動報告—事業企画会議開催，研修会開催，広報誌発行，現職者共通研修事例報告会開催
活動予定—研修会開催
平成25年度県民健康づくりセミナー（8月6日福岡県医師会館にて開催）「健康に生活すること～地域でいきいきと生きる」黒木勝仁氏（恵光会原病院）講演

〈福岡東ブロック〉

活動報告—事業企画会議開催
活動予定—事業企画会議開催，研修会開催，現職者共通研修事例報告会開催

〈筑豊ブロック〉

活動報告—事業企画会議開催，研修会開催，
活動予定—事業企画会議開催，研修会開催

〈北九州ブロック〉

活動報告—事業企画会議開催，研修会開催，第18回福岡県作業療法学会準備委員会開催
活動予定—研修会開催
第24回全国ふうせんバレーボール大会準備委員会発会式に玉野ブロック担当理事，堤氏（御所病院）が参加。

X. 次回開催日

平成25年度 第4回理事会

平成25年10月7日（月）19：00～ 場所：株式会社 らそうむ スポーツガーデン

各部・委員会からのお知らせ

【教育部】

1. 主催研修会開催報告
 - 1) 精神分野研修会
日 時：平成25年7月6日（土） 14:00～17:00 会 場：専門学校麻生リハビリテーション大学校
テーマ：『精神科における非構成的評価の実践』
講 師：京極 真（国際吉備大学 大学院保健科学研究科准教授）
参加数：59名（OT 58名 内佐賀県1名，PT 1名）
 - 2) 地域分野研修会（基礎編）
日 時：平成25年7月6日（土） 14:30～18:00 会 場：福岡医健専門学校
テーマ：『コーチング基礎 ～その「問い」の力と活かし方～』
講 師：小林 真（富田薬品株式会社 人事部）
参加数：31名（OT 27名，PT 1名，他職種2名，学生 1名）
2. 研修会中止・延期のお知らせ（開催案内後日発送）
 - * 第1回現職者共通研修：H25. 8. 31（土） 会場 小倉リハビリテーション学院
→ 台風接近により開催中止
→ 平成26年2月15日（土）午前に延期 会場 北九州国際会議場
3. 今後の主催研修会開催予定（日程・会場）
 - 1) 分野別研修会
老年期分野研修会：H25. 10. 6（日） 小倉リハビリテーション学院
身障分野研修会：H25. 11. 3（日） 福岡国際医療福祉学院（当初より変更）
地域分野研修会：応用編：H26. 1. 26（日） 福岡医健専門学校
 - 2) 生涯教育制度関連研修会
 - ① 現職者共通研修：第2回：H25. 11. 9（土） 福岡和白リハビリテーション学院
 - ② 現職者選択研修：発達分野：H26. 1. 19（日） 麻生リハビリテーション大学校

【福岡ブロック】

1. 事業企画会議開催：7月18日，8月8日，9月24日
2. エリア会部
 - 1) 新入者オリエンテーション
日時：7月12日（金）19：00～ 会場：麻生リハビリテーション大学校 参加：40名
 - 2) エリア会
 - (1) 南部地区エリア会
（旧：南区・春日市・那珂川町エリアと大野城市・太宰府市・筑紫野市エリア合同）
日時：9月26日（木） 19：00～ 会場：福岡赤十字病院
内容：「最近のうつ病の傾向と関わりのポイント～身障者対象や職場関係で役立つ知識～」
講師：中島純二先生（今宿病院 作業療法士）
参加：21名
 - 3) 事例検討・報告会
8月2日開催予定でしたが発表者が少なく中止。11月開催予定。
3. 広報部
7月分「Joy Style」発行 県協会ホームページ活用検討中。
4. 教育学術部
 - 1) 「トップダウンアプローチについて」
日時：平成25年8月22日（木）19：00～20：30
場所：椎木記念ホール（福岡赤十字病院アネックス棟2階）
講師：友利 幸之介先生（神奈川県立保健福祉大学 准教授，作業療法士）
参加：117名
 - 2) 「リハビリ実践のための知っておくべきリスク管理」
日時：平成25年9月18日（木）19：00～20：30

場所：麻生リハビリテーション大学校（8階 講堂）
講師：内藤 紘一先生（桜十字福岡病院 理学療法士）
参加：91名

5. 県民健康づくりセミナー

「健康に生活すること～地域でいきいきと生きる～」

日時：平成25年8月6日（火）14：00～15：00 場所：福岡県医師会館

講師：黒木勝仁先生（恵光会原病院）

参加：35名

【北九州ブロック】

活動報告

＜北九州ブロック＞

・ブロック企画会議開催

平成25年7月 8日（月） 19:00～ 曾根東市民センター 大会議室

平成25年8月23日（金） 19:00～ 大手町病院 リハビリ室

平成25年9月 9日（月） 19:00～ 曾根東市民センター 大会議室

・第24回全国ふうせんバレーボール大会実行委員会発会式

平成25年7月25日（木） 18:30～ 北九州市障害者スポーツセンター アレアス

・第18回福岡県作業療法学会準備委員会

日 時：平成25年7月18日（木） 19:00～ 製鉄記念八幡病院

平成25年8月22日（木） 19:00～ 製鉄記念八幡病院

平成25年9月25日（水） 18:00～ 北九州国際会議場

＜小倉北・門司エリア＞

・エリア事業企画会議開催

平成25年7月2日（火） 18:30～ 北九州中央病院

平成25年9月3日（火） 18:30～ 北九州中央病院

・事例検討会開催 H24.7.12（金） 19:00～ 新小文字病院 演題：7題

・第1回エリア研修会開催 H25.9.13（金） 19:00～ 北九州中央病院 参加者：27名

テーマ：「住宅改修の事例検討 ～グループディスカッション～」

講師：角崎 理栄子氏（福祉用具プラザ北九州）

＜小倉南・京築エリア＞

・エリア事業企画会議開催

平成25年9月3日（火） 19:00～ 小倉南障害者活動センター

・第1回エリア研修会開催 H25.7.6（土） 14:30～ 小倉リハ学院 参加者：28名

テーマ：「今後のOTに求められるもの」

講師：中川 昇氏（福岡県作業療法協会 事務局長）

・第2回エリア研修会開催 H25.8.10（土） 14:00～ 北九州リハ学院参加者：身障：29名精神：27名

テーマ：身障：「心疾患に関するリスク管理」

精神：「40年の精神科医療 ～今後のあり方～」

講師：身障：河波 恭弘氏（北九州リハ学院 理学療法士）

精神：井本 浩之氏（医師）

＜八幡西・遠賀・中間エリア＞

・エリア事業企画会議開催

平成25年8月7日（水） 19:00～ 小嶺江藤病院

・事例検討会開催 H24.9.19（木） 19:00～ 水巻町中央公民館 演題：3題

＜戸畑・若松・八幡東エリア＞

エリア事業企画会議開催

平成25年7月2日（火） 18:30～ あやめの里

第2回エリア研修会開催 H25.7.12（金） 19:00～ 製鉄記念八幡病院 参加者：50名

テーマ：「リハビリテーション栄養について」

講師：鈴木 祐也氏（製鉄記念八幡病院 理学療法士）

第3回エリア研修会開催 H25.9.20（金） 19:00～ 製鉄記念八幡病院 参加者：85名

テーマ：「認知症について」 講師：田中 清貴氏（みさき病院 院長）

【筑豊ブロック】

1. 事業企画会議

第3回筑豊ブロック事業企画会議

日 時：平成25年8月12日（月） 19：00～21：00 会 場：飯塚記念病院 多目的ホール

参加者：13名

内 容： 第3回理事会報告，
筑豊ブロック研修会について
事例報告（現職者共通研修）について，他

2. 研修会報告

第3回筑豊ブロック研修会

期日：平成25年8月22日木曜日19:00～21：00

テーマ：「認知症のある方に対する人間作業モデルを用いたアプローチとその評価手法」

講師：青山克実（専門学校麻生リハビリテーション大学校）

会場：飯塚記念病院 多目的ホール 参加者：54名

第4回筑豊ブロック研修会

期日：平成25年9月18日水曜日19:00～21:00

テーマ：「生活行為の意味と作業の意味～作業することが健康，生きがいをつかむ～」

講師：轟木健市（帝京大学福岡医療技術学部）

会場：飯塚記念病院 多目的ホール 参加者：33名

3. その他

広報誌 筑豊OT TIMES 第5号 7月16日発行

【筑後ブロック】

開催日：平成 25 年 8 月 19 日（月） 19:30 ～ 場所：高良台リハビリテーション病院

出席者：10名（参加者：アンダーライン）

理事（轟木健市），事務（永田敬生，木村真弓），広報（古賀昭彦）学術（岩佐親宏）

教育（中満篤子，長彰純，安部久実，弥永浩一郎，木村伸一郎）

A地区（江口智則，石井孝昌，川原大和，國崎啓介，古賀英教，中島龍彦）

B地区（中原徳郎，大村洋介，山下和希，布川未来，木村有希）

C地区（澤田剛，森健一朗，末藤優介，川田隆士，上村佳代，荻島秀顕）

D地区（古賀大亮，田中純子，平原栄里香，出利葉亮介，藤田知志，香田隆司）

文責 永田敬生

A地区

1協議事項：

1) 社会貢献活動の企画案

(1) 久留米市民公開シンポジウムの参加案

①シンポジウムで作業療法のポスターを貼り啓発していく

②リハビリ相談コーナー・介助デモなど実施

2) 未入会者や新卒者への入会を促す研修会の企画案

(1) 大学・専門学校へ訪問

①協会の利点をアピールするとともに入会方法を伝え資料を渡す

2報告事項

1) 活動予定

(1) A地区主催地区研修会

①テーマ：「日本作業療法士協会生涯教育制度の概要」

-基礎教育から専門作業療法士取得研修の流れまで-

②講師：松田 隆治先生（熊本総合医療リハビリテーション学院）

③日時：平成 25 年 10 月 26 日（土） 14：00～16：00 ※13：30より受付開始

④会場：久留米リサーチパーク2F研修室A

B地区

1協議事項：

1) 地区連絡網作成について

- (1) 個人情報保護について配慮が必要
- (2) 地区長にて情報を管理し一斉メールにて伝達する方法を検討

2報告事項

1) 活動報告

- (1) 第3回B地区企画会議 平成25年7月17日(水) 19:30～21:00
①場所：のぞみ船小屋 ②出席者：中原徳郎，大村洋介，布川未来，山下和希，木村有希
③内容：25年度地区研修会について

2) 活動予定

- (1) B地区研修会講師打ち合わせ 8/21(水) 19:00～
- (2) B地区研修会
①日時：平成25年10月25日(金) (ナイトセミナー形式) 19:00～21:00内の90分
②講師：権藤 昭雄氏 (九州ホームケアサービス株式会社)
③会場：石橋文化センター共同ホール
※9月末に案内発送予定
- (3) B地区交流会
①日時：平成25年11月16日(土) 予定

C地区

1報告事項

1) 活動報告

- (1) C地区事業企画会議(平成25年7月1日18:00～ 天領病院)
①代表者会議内容伝達
②筑後ブロック全体研修会
・会場について・・・帝京大学に決定(会場借用の公文書を事務局に依頼)
・広報について・・・8月1日発行の「広報 おおむた」に掲載
・会員への案内・・・7月20日に発送(事務局に依頼)
・資料について・・・8月25日までにデータを送っていただく
③C地区交流会について
・平成25年11月に予定
・会場は大牟田市内を予定
・案内を9月20日付けの発送で行う(事務局に依頼)

2) 活動予定

- (1) C地区事業企画会議
①日時：平成25年9月2日(月) 18:00～ ②会場：天領病院
③内容：筑後ブロック全体研修会・症例発表会・C地区交流会 等

3) その他

- (1) 各地区長に依頼
①8月12日現在で全体研修会への参加者募集
- (2) 研修会会場の件
①イオンモール使用の条件として ・非営利であること(参加費も徴収してはいけない)
- (3) 「広報 おおむた」への掲載の件
①掲載の手順 ・窓口へ申し込み(長寿社会推進課) ・打ち合わせ(内容説明 等)
・共催申込書，誓約書の提出(轟木理事に依頼)

D地区

1報告事項

1) 活動報告

- (1) 代表者会議内容報告
- (2) 地区研修会開催について
①テーマ：「うつ病の診断と治療」～基礎からトピックスまで～
②講師：久留米大学医学部 神経精神医学講座 講師 内野俊郎先生
③期 日：H25年10月25日(金) 19:00～21:00(18:30受付)
④場 所：甘木中央病院 ⑤参加費：300円 ⑤締め切りH25年10月12日(土)

教育

1 報告事項：

1) 活動報告：

(1) 第1回分野別研修会【日時:H25年7月7日(日) 場所:久留米リハビリテーション学院於

①身体障害部門

- ・テーマ：肩関節・肩甲帯の解剖と運動学を考慮した操作方法 ・参加者：56名
- ・講師：河上 淳一氏 (済生会八幡総合病院 理学療法士)

②発達障害部門

- ・テーマ：みる機能の評価とアプローチ ・参加者：20名
- ・講師：濱本 孝弘氏 (保健福祉部担当理事 聖ヨゼフ園 作業療法士)

③老年期障害部門

- ・テーマ：シーティングの基礎 ・参加者：17名
- ・講師：江原 公洋氏 (からぎステーション 作業療法士)

④精神障害部門

- ・テーマ：地域での障害者スポーツ活動を通じて 参加者：27名 (学生16名含む)
- ・講師：越智 哲平氏 (甲斐病院 作業療法士)
手嶋 雄太氏 (筑山会 松岡病院 作業療法士)

広報

1 報告事項

1) 活動報告

(1) Facebook運用開始

2) 活動予定

(1) Facebook説明会を実施予定

①筑後ブロックの代表者から広めていく

②次回会議時実施予定

事務

1 協議事項

1) 2015年度『福岡県作業療法学会in筑後ブロック』の準備委員会設置について

(1) 2013年度に学会の準備を始動していく

2) 平成25年度地域作業療法学会(平成26年2月22日～23日)の企画・運営

(1) 7/19に全国地域作業療法研究大会運営会議にて筑後ブロックの応援について検討

①福岡県OT協会筑後ブロックの応援について

- ・応援スタッフについて次回の会議(8/28)にて大まかな人数が決まる予定の為
明確になり次第OT協会に再度依頼をする方針(8/28以降に報告あり)

2 報告事項

1) 活動報告

(1) 筑後ブロック全体親睦会

①開催日時：平成25年6月21日(金) 19:30～21:30

②開催場所：アルティエーノ ③参加者：79名

(2) 筑後ブロック緊急連絡網作成について

①連絡の方法を決定する

- ・連絡網の運用を地区長からの一斉メール方式を採用
- ・個人情報保護の観点より連絡網の配布を行わない方針

(3) 座長情報提供について

①座長選定進行状況確認→ 今回のデータに座長選定判断できず、情報提供を求める

3 活動予定

(1) 連絡網の作成

4 その他

1) 次回会議予定：平成25年10月21日(月) 19:30～ 場所：高良台リハビリテーション病院(代表者会議)

全国地域作業療法研究大会 第19回学術集会 in久留米

テーマ : 若いからこそできる未来への地域作業療法の提言
 ～次世代へつなぐ起業と修業～
 大会長 : 深井 伸吾 (いきいきリハビリケア)
 開催日 : 平成26年2月22日 (土) , 23日 (日)
 会場 : 久留米医師会館 (久留米医師会看護専門学校)
 住所 : 福岡県久留米市櫛原町45
 参加費 : 会員5000円, 非会員7000円, 学生1000円
 プログラム :

22日 (土) 1日目

12:15	受付
12:50	開会式
13:00	修業 その① 『出会いとことばを大事にせよ!』
13:40	講師: 近藤 敏 氏 (県立広島大学)
13:50	修業 その② 『出会いからの学び ～「結ばれるところ」の原点～』
14:30	講師: 濱田 桂太郎 氏 (株式会社 ユニティ)
14:40	修業 その③ 『未定』
15:20	講師: 坂口 聡子 氏 (コールメディカルクリニック福岡)
15:30	シンポジウム
16:30	司会: 深井 伸吾
16:40	一般演題
17:50	次期大会長挨拶
18:00	総会
19:00	懇親会

23日 (日) 2日目

8:30	受付
9:00	吉田隆幸記念講演 『出会いこそすべて, 我逢人』
10:00	講師: 小川 敬之 氏 (九州保健福祉大学)
10:10	一般演題
11:40	
休憩	
12:40	特別講演 (ファイナルレクチャー) 『若いからこそできる未来への地域作業療法の提言 ～次世代へつなぐ起業～』
14:10	講師: 二神 雅一 氏 (株式会社 創心會)
14:10	閉会式

<一般演題の募集>

募集期限は平成25年11月 末日となっています。演題募集要項につきましては、日本地域作業療法研究会HP (<http://www.chiikiot.net>) をご参照ください。

<お知らせ>

- *日本作業療法士協会生涯教育制度2ポイントを取得できます。
- *演題発表の場合は、さらに1ポイント取得できます。
- *認定作業療法士の方は、更新要件の「臨床実践の報告」にカウントされます。

<参加申込み方法>

勤務先施設名、勤務先電話番号、職種、氏名、会員・非会員・学生の別を下記宛先へFAXかメールにて申込み下さい。

連絡先：[第19回学術集会事務局]

〒830-0044 久留米市本町6丁目161

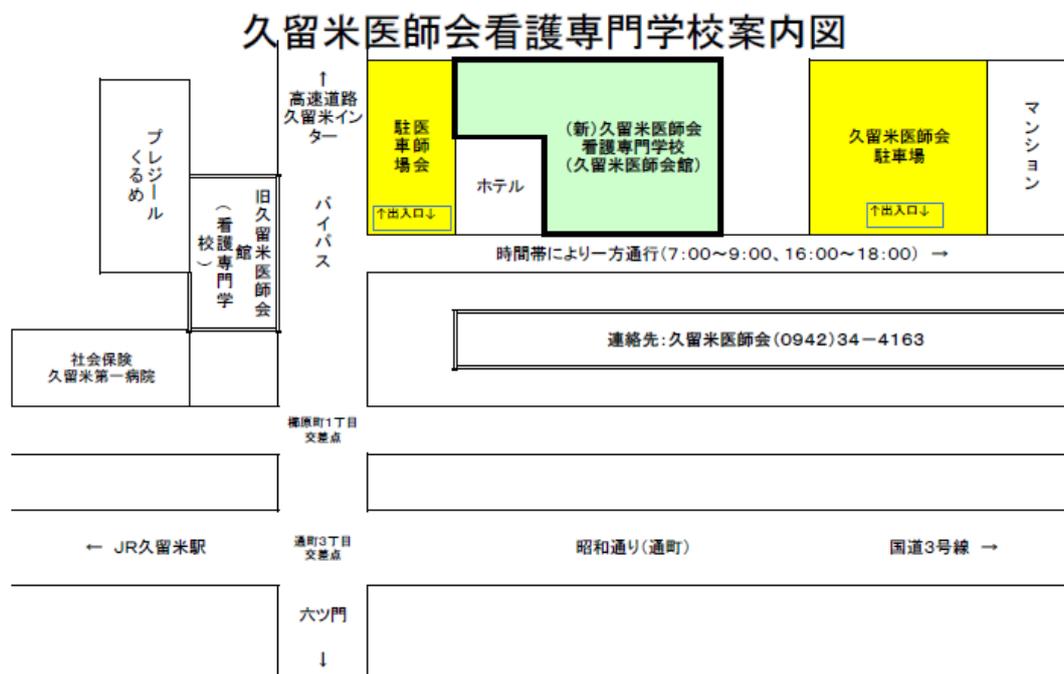
いきいき本町デイサービスセンター

田中 洋平 TEL (0942) 46-6333 Email : iki.honmachi@iki2-k.com

- ★演題募集中です。認定作業療法士の実践報告1回(25np)にカウントされます★
- ★一日目の22日には懇親会を予定しています。多数の先生方のご参加をお待ちしております★

<交通アクセス>

住所：福岡県久留米市櫛原45 TEL：0942-34-4163



- ・西鉄久留米よりタクシーで5分 (徒歩で1.1km 約17分)
- ・JR久留米よりタクシーで3分 (徒歩で1.3km 約21分)

<駐車場について>

- ・当日は会場内駐車場収容台数が少なく、付近のコインパーキングを利用して頂くこともあります。
- ・付近のコインパーキングからの移動所要時間を考え、早めの来場をお勧めします。

第18回福岡県作業療法学会の開催のご案内

今、伝えたい作業療法

～広く、深く、そして一歩前へ～

下記の如く、第18回福岡県作業療法学会が田中聡先生（おかがき病院）を学会長として北九州ブロックの担当により開催されます。今回は、テーマを「今、伝えたい作業療法～広く、深く、そして一歩前へ～」とし、（株）ライフリーの佐藤孝臣先生による「地域包括ケア」をメイン講演として、下記のような多彩な企画をもって、開催に向けて準備を進めております。

つきましては、多数の皆様のご参加をお待ちしております。また、一般演題におきましても、日頃の学術研鑽の発表の場として積極的に応募して下さいますことを期待しております。

（学術部担当理事 丹羽 敦）

日 程：平成26年2月15日（土）13時開会（受付12時～）、16日（日）15時閉会

テーマ：今、伝えたい作業療法～広く、深く、そして一歩前へ～

会 場：北九州国際会議場

主 催：公益社団法人 福岡県作業療法協会

共 催：北九州市

学会内容（テーマは未定）

■基調講演： 地域包ケア ～講師 佐藤孝臣先生（株ライフリー OT）

■教育セミナー

1 認知症初期集中支援チーム ～講師 小川敬之先生（九州保健福祉大学 OT）

2 生活行為向上マネジメント ～講師 長谷麻由先生（国際医療福祉大学福岡保健医療学部 OT）

3 特別支援教育 ～講師 佐野幹剛先生（九州栄養福祉大学 OT）

■未来講演：

1 訪問（終末期） ～講師 坂口聡子先生（コールメディカルクリニック OT）

2 発達（ITコミュニケーション） ～講師 高橋知義先生（こぐま学園 OT）

3 精神（長期入院患者の地域復帰）～講師 藤江 愛先生（行橋記念病院 OT）、

元重義則先生（浅野社会復帰センター PSW ）

■ワークショップ：高次脳機能障害～講師 原真理子先生（国際医療福祉大学福岡保健医療学部OT）

■市民公開講座：車いすの花嫁 ～講師 鈴木ひとみ氏（アテネパラリンピック射撃日本代表）

■一般演題（口述・ポスター）

今回は初日にレセプションも企画されております。

参加受付開始は平成27年1月早々を予定しております。詳細は間もなく学会HPが公開されますのでご確認ください！



公益社団法人福岡県作業療法協会企画委員会

西日本国際福祉機器展2013展示ブース出展のご案内

さて、今年度も西日本国際福祉機器展におきまして、公益社団法人福岡県作業療法協会より展示ブースへの出展を行うこととなりました。作業療法の啓発としていち県民や各団体にアピールすべく、公益社団法人福岡県作業療法協会会員よりボランティアを募り活発な活動にしたいと考えています。お誘いあわせの上こぞってご参加ください。参加案内・申込は全協会員へ発送されますのでお見逃しなく！ちょっと見に来るだけでも大歓迎です！

開催日時：平成25年11月22日（金）～平成25年11月24日（日）

10：00～17：00（ボランティアは9：30～17：00）

*半日、1日だけでもお手伝いいただければ助かります。

*ボランティアでご参加の方は福祉機器展全体を見学できるよう手配いたします。

場所：西日本総合展示場 新館

内容：会場のブースにて作業療法の紹介

- ・パンフレット，パネル，チラシ等を使った作業療法紹介
- ・作業療法（アクティビティ）体験など

*ビーズを使ったアームバンドを作成する予定です。



こんなこと
やっています！



連絡先

株)シダー本社 担当：佐藤 稔

FAX：093-513-2601

TEL：093-513-2600

e-mail:satou@cedar-web.com

Occupation

アンジェ心療クリニック 北永梨紗

はじめまして.アンジェ心療クリニックの北永梨紗と申します.今回,このような機会を頂きありがとうございます.この機会をお借りしまして,当クリニックの概要,作業療法士としてクリニックの患者様への取り組みについて,一部ではありますが紹介させていただきます.

当院は,2009年11月に福岡市中央区六本松付近の閑静な住宅街の中にあるマンションの1室に開院しました.医師・看護師・作業療法士・体育療法士・医療事務員が各1名ずつと少人数のスタッフ構成ではありますが,患者様の悩みに寄り添いながら,一人ひとりに適した治療を行うことを目指しており,ゆっくりとしたアットホームな時間が流れています.勤務している立場としては,少人数ならではのフットワークの軽さや職種間の情報共有の早さや連携の強さというのはとても心強く感じています.

当院の疾患層としましては,うつ病,躁うつ病,神経症,パーソナリティ障害,統合失調症,ADHDなど幅広い患者様が通院しており,患者様一人ひとりに適したフォローアップを行っています.当院の特色の一つとして,毎週水曜日には体育療法士によるフィジカルトライ(体育療法)が行われています.運動する機会の提供だけではなく,運動後に得られる充実感や勝負に勝つ喜びなどを通じて,心身両面への健康に働きかけています.その体育療法を通じ,2011年には,院内フットサルチーム「ange m.c.」を発足しました.県内外の精神科フットサルチームとのリーグ戦を経て,年に1度行われる「九州・四国スカンビオカップ大会」に出場するなど,院内の域を超えて幅広く活動しています.

作業療法士として当院での取り組みとしましては,1日2回行われているショートケアの実施及び週1回の訪問支援です.

まず,ショートケアでは,創作や調理,レクリエーション,スポーツ,認知行動療法といった内容を日替わりで行っており,平均2~10名前後のメンバーが参加しています.当院で勤務を行う前は,軽度療養型病棟に入院している高齢者の方を対象とした活動を行っていました.その為,当院での活動を始めた頃は1コマ3時間という枠の広さや,対象疾患がそれまで大部分を占めていた統合失調症や認知症の方がほとんどいなかった事に対し戸惑いや不安を感じていたものです.その不安を早く消そうと集団のリーダーシップを取ることに躍起になっていましたが,メンバーと過ごす時間がショートケアという場所の意味を教えてくださいました.ショートケアという集団は,休養の場ということだけではなく,社会復帰の準備を行う為に同じ悩みを抱えるメンバーたちが交流する場であったりと,メンバーと地域社会とを繋ぐパイプ役を担っていると考えます.その為,治療者としてメンバー達を引っ張っていくだけではなく,メンバーと共に歩調を合わせながら共に進んでいくということの大切さに気付くと,これまで肩に入っていた力が抜け,私自身自然体で取り組めることが出来るようになりました.

訪問支援では,Nsと共に患者様のご自宅に訪問させて頂き,訪問看護と生活指導を行っています.院内で話すだけでは伝わりにくい日常生活の困難さも,家庭環境自体を見ながら支援を行うことで,より明確な支援を行うことが出来,患者様の不安を少しでも取り除くことに繋がっているのではないかと感じています.

今年,作業療法士生活が5年目となりました.しかし,周囲の先輩方と比べるとまだまだ半人前ではありますが,日々の活動の中でメンバーから多くのことを学ぶことの出来る温かなこの場所がとても大好きです.ショートケアという集団の中で,OTRが自身の考えや好みを押し通すような場ではなく,メンバーが「来て良かった」「みんなの顔を見たらほっとした」「また頑張ろう」と思えるような場を提供し続け,メンバーと共に作業療法という万能薬を楽しみながら,これからも精進していきたいと思えます.



リレーエッセイ

遠賀中間医師会おかがき病院 善明勇二

はじめまして、遠賀中間医師会おかがき病院で勤務している善明勇二と申します。今回、相生会宮田病院付属山桜クリニックデイケアの田辺麻由子さんからバトンを引き継ぎました。田辺さんとは専門学校の同級生で、時々集まっては近況報告や世間話で盛り上がっています。私はキャンプや登山など体を動かす事が大好きで、今年度は色々な祭り（戸畑祇園山笠等）にも参加し、6基の神輿をワッショイしてきました。

こんな私が勤務する病院は、三里松原という国有林に囲まれた自然豊かなところで、屋外歩行中には野うさぎと遭遇することも珍しくなく、とてもどかな場所にあります。当院は回復期病棟50床、医療療養病棟50床の計100床の病院で、脳血管疾患や運動器疾患の方が多いです。その他に認知症デイケアを併設しており、昨年度より新たに訪問リハビリを開始しました。スタッフはPT21名、OT20名、ST3名で、個性的なセラピストや、先輩方も多く、何でも相談できる雰囲気なので、明るく楽しくリハビリテーションを提供しています。そんな部署内では定期的な症例カンファや勉強会も行い、スキルアップに努めています。また、当院の目玉として退院時には、必ず自主訓練や家族に対して介助方法の手引き、時には、思い出の写真を作成しており、患者さん及び家族から評判良くとても喜ばれています。協会活動でも、昨年度は公益社団法人福岡県作業療法協会創立30周年記念式典に参加し、祝賀会を盛り上げるアトラクションとして太鼓の演奏やダンスを披露して大好評でした。今年度は、2月15～16日に北九州国際会議場で開催される第18回福岡県作業療法学会に携わり、作業療法の魅力を伝えられるよう取り組んでいます。作業療法士となり早5年。私自身成長するため、色々な方との関わりを持つ良い機会をいただいています。

今後も、患者さんに笑顔を提供できるセラピストをモットーに、日々精進していきます。これからも遠賀中間医師会おかがき病院ならびに私自身の活動に乞うご期待！



医療福祉の多彩なエキスパートを育てる。

国際医療福祉大学大学院 福岡天神キャンパス (福岡県福岡市) 大川キャンパス (福岡県大川市)

【医療福祉学研究科】

修士課程

保健医療学専攻

- 看護学分野 ●ナースプラクティショナー養成分野 ●助産学分野 ●理学療法学分野
- 作業療法学分野 ●言語聴覚分野 ●視機能療法学分野 ●福祉援助工学分野
- リハビリテーション学分野 ●放射線・情報科学分野 ●生殖補助医療胚培養分野
- 医療経営管理分野 ●診療情報アナリスト養成分野 ●医療福祉国際協力学分野
- 先進的ケア・ネットワーク開発研究分野 ●医療福祉学分野
- 医療福祉ジャーナリズム分野

医療福祉経営専攻

臨床心理学専攻

博士課程

保健医療学専攻

- 看護学分野 ●助産学分野 ●理学療法学分野 ●作業療法学分野 ●言語聴覚分野
- 視機能療法学分野 ●福祉援助工学分野 ●リハビリテーション学分野
- 放射線・情報科学分野 ●生殖補助医療胚培養分野 ●医療福祉経営学分野
- 診療情報管理・分析学分野 ●医療福祉国際協力学分野
- 先進的ケア・ネットワーク開発研究分野 ●医療福祉学分野
- 医療福祉ジャーナリズム分野 ●医療福祉心理学分野

【薬科学研究科】

修士課程

生命薬科学専攻

【薬学研究科】

博士課程

医療・生命薬学専攻

※専攻、分野によっては、受講できるキャンパスが限られているものもございますので、詳細につきましては、お問い合わせ下さい。※短大卒・3年制専門学校卒で進学可能（修士課程）



- ◆ 社会人の方も働きながら無理なく受講できます
- ◆ 一流教授陣の講義をリアルタイムで受講できます
- ◆ 研究者志向の方のニーズにも対応できます

分野・領域についてのお問い合わせ・資料請求先

福岡天神キャンパス 〒810-0072 福岡県福岡市中央区長浜 1-3-1
TEL 092-739-4321 E-mail fukucamp@iuhw.ac.jp

(平成25年4月より下記に移転予定)
福岡県福岡市早良区百道浜 3-6-40 (福岡国際医療福祉学院内)

大川キャンパス 〒831-8501 福岡県大川市榎津 137-1
TEL 0944-89-2000 E-mail oocamp@iuhw.ac.jp

HP <http://www.iuhw.ac.jp/daigakuin/>

リレーエッセイ

小倉リハビリテーション病院 片山綾香

こんにちは。

北九州市にある医療法人共和会小倉リハビリテーション病院で勤務しています片山綾香と申します。

今年の4月から訪問リハビリで勤務をさせて頂くようになり、訪問作業療法士の役割とは何だろうと模索の毎日です。既に生活している「家」という場の中に入り込んで、週に1回～2回の短い時間しか会えない中で、技術も知識も経験も乏しい自分に何が出来るだろうか……

元気があればなんでもできる!!!

病気でたまたま障害を背負って生きていかなければならなくなった方々に、障害を背負っても自分のことが好きで、他人のことを信じる事が出来、自分の役割を持つことが出来、これからも前向きで強く生きていく希望を持って頂きたい。そのために、まずは自分がいつも元気で、笑顔で、強くあること。私の元気の源は、今まで出逢ってきた方や患者様から頂いた笑顔と温かい言葉です。

訪問させて頂くようになり、いろんな生活や家族の在り方があるのだなあつくづく感じます。私は家族が大好きで、家で過ごす時間はとても落ち着きます。家族と共に住み慣れた家や地域で生活するという事は、1番自然で、幸せなことではないでしょうか。そんな「家」という生活の場では、普段忘れがちな当たり前の幸せに気付かされる事が多くあります。そして家で過ごす時間や家族・友人との交流、生き様や好きな作業など、色々な力を感じます。そんな目に見えないものを大切にしていこうと、「何もできなくなってしまった」と言われていた方から「〇〇したい」という言葉を聞かせて頂いたとき、もう心の中ではガッツポーズです。

これからも利用者様の具体的な生活の希望や目標を共有して、ご家族やその地域の方々、またその方に関わる職種の方々と一緒になって、その方らしい生活を支えていけるように関わっていきたく考えています。そして、その方の自分史や背景、大切にしてきた価値観、および、その方を支える人や環境を考慮しながら、心理的な部分も含めて支援ができるよう、もっともっと自分を磨いていきます。

作業療法士となって3年目。たくさんの素敵な出逢いに恵まれ、感謝の気持ちでいっぱいです。

さあ今日も元気いっぱい!! 笑顔で顔晴って(がんばって)行ってきます!!!



体に合った車いす・目的に合った車いす
をご提供します
車いす・介護用品・福祉用具レンタル

本社/福岡市中央区天神 5-4-15
営業本部/糟屋郡粕屋町仲原3丁目 9-20
TEL/092-938-2208
HP/http://www.takis yokai.co.jp



タキ商会

病院名 医療法人喜悦会 那珂川病院

【募集職種】 作業療法士 **急募**
(回復期病棟・一般病棟担当者)
理学療法士
(回復期病棟・一般病棟担当者)

【募集人員】 OT2名(新卒可), PT1名(新卒)

【雇用形態】 常勤

【給 与】 初任給21,400円(諸手当含)
経験年数考慮
交通費 26,000円まで支給

【賞 与】 年2回(4.3ヶ月)

【勤務時間】 8:30~17:00

【休 日】 4週6休制(第5土曜日休),
盆休 8月13, 14, 15日
正月休み 12月31日~1月3日
(回復期病棟担当者は365日体制の為シフト制実施)

【福利厚生】 各種保険制度完備, 学会・研修会等予算制度有り

【その他】 院内託児所有り

【連絡先】 住所 〒811-1345 福岡市南区向新町
2-17-17
電話番号 092-565-3531
担当者名 リハビリテーション部 東

病院名 小倉記念病院

【募集職種】 作業療法士

【募集人員】 若干名

【雇用形態】 正職員

【給 与】 基本給210,000~240,000円(経験加算あり)

【賞 与】 年2回 5.5ヶ月(H24年度実績)

【勤務時間】 8:10~17:00(実働7時間50分)

【休 日】 土・日・祝・夏期・年末年始
年間休日123日

【福利厚生】 健康保険・厚生年金・雇用保険・労災保険
年次有給休暇・特別休暇・退職金制度
職員専用レストラン・職員休憩室利用可等

【その他】 交通費支給
試用期間は3ヶ月(賃金は同一)

【備考】 当院は北九州地域の「地域医療支援病院」として高度医療を提供しています。新病院の充実したリハビリテーション施設でスタッフ17名が急性期における包括的リハビリテーションを展開しています。施設見学可能です。

【連絡先】 北九州市小倉北区浅野3-2-1
電話093-511-2000 FAX093-511-3251
担当:人事課 牟田口(むたぐち)

病院名 株式会社麻生 飯塚病院

【募集職種】 作業療法士

【募集人員】 3名

【雇用形態】 正職員

【給 与】 ¥204,340(大学/4年専門学校新卒の場合)

【賞 与】 年2回約5ヶ月分(業績連動制)
平成24年度下期実績¥608,000(経験6年目)

【昇 給】 年1回

【勤務時間】 1日出勤 8:30~17:00(休憩60分)
半日出勤 8:30~12:30 (月1回)

【休 日】 4週7休(月1回半日出勤有)
※365日リハ実施中

【福利厚生】 健康保険, 厚生年金, 雇用保険, 労災, 財形

【その他】 住宅手当, 交通費支給(当社規定有)

【備考】 地域医療支援病院

【連絡先】 福岡県飯塚市芳雄町 3-83
電話番号:0948-22-3800 FAX:0948-29-5744
担当者:人事課 矢野
ホームページ: <http://aih-net.com/>

病院名 小倉記念病院

【募集職種】 作業療法士

【募集人員】 若干名

【雇用形態】 有期契約職員(パート)

【給 与】 時給1,365円~(月換算 約212,940円~)

【賞 与】 年2回 2.6ヶ月(H24年度実績)

【勤務時間】 8:10~17:00(実働7時間50分)

【休 日】 土・日・祝・夏期・年末年始
年間休日123日

【福利厚生】 健康保険・厚生年金・雇用保険・労災保険
年次有給休暇・特別休暇
職員専用レストラン・職員休憩室利用可等

【その他】 交通費支給
試用期間は3ヶ月(賃金は同一)

【備考】 当院は北九州地域の「地域医療支援病院」として高度医療を提供しています。新病院の充実したリハビリテーション施設でスタッフ17名が急性期における包括的リハビリテーションを展開しています。施設見学可能です。

【連絡先】 北九州市小倉北区浅野3-2-1
電話093-511-2000 FAX093-511-3251
担当:人事課 牟田口(むたぐち)

会員動向調査

調査期間 (2013.5.21~2013.9.2)

福岡県作業療法協会 会員数2,513名

(正会員：2,281名 自宅会員：232名)

＜入会＞			八並 智子	共立病院	：2013年6月
林 一輝	大川病院	：2013年6月	堀田 麻美	麻生飯塚病院	：2013年8月
姫田真理子	新小文字病院	：2013年6月	福田 恭子	麻生飯塚病院	：2013年8月
永田 英美	新小文字病院	：2013年6月	中園 瞬	麻生飯塚病院	：2013年8月
柏木 沙枝	新小文字病院	：2013年8月	今井 昌子	倉光病院	：2013年6月
岡 沢人	新小文字病院	：2013年8月	後藤 拓見	福岡共立病院	：2013年6月
加地 紗也	新小文字病院	：2013年8月	松崎 謙史朗	夫婦石病院	：2013年8月
本田 朝美	新小文字病院	：2013年8月	松谷 信也	福岡国際医療福祉学院	
櫻木 結花	新小文字病院	：2013年8月			：2013年8月
畦地 美里	福岡新水巻病院	：2013年7月	高見 純司	村上華林堂病院	：2013年4月
伊藤 嘉展	福岡新水巻病院	：2013年7月	福島 知子	村上華林堂病院	：2013年7月
黒木 愉麻	福岡新水巻病院	：2013年7月	正木 志津香	福岡リハビリテーション病院	
大瀬良 知夏	福岡新水巻病院	：2013年8月			：2013年6月
山本 健太郎	小倉リハビリテーション病院		坂上 由香	福岡リハビリテーション病院	
		：2013年7月			：2013年8月
大西 安世	特別養護老人ホーム もみじ苑		田崎 龍仁	博愛会病院	：2013年5月
		：2013年5月	柴田 萌	博愛会病院	：2013年8月
品川 彰行	ひまわりクリニック		蓑田 沙弥香	博愛会病院	：2013年8月
		：2013年5月	岡本 かほる	木村病院	：2013年5月
品川 梨絵	小波瀬病院	：2013年5月	今井 孝輔	木村病院	：2013年6月
溝尾 寛子	黒崎整形外科病院	：2013年4月	中野 沙織	白十字病院	：2013年6月
中村 裕	介護老人保健施設ほうらい山荘		針馬 見佳	白十字病院	：2013年7月
		：2013年6月	近藤 百合華	白十字病院	：2013年8月
加藤 愛美	正和なみき病院	：2013年6月	河津 愛美	誠愛リハビリテーション病院	
大澤 杏奈	門司松ヶ江病院	：2013年6月			：2013年7月
宮田 梓	南小倉デイケアセンター		平木 優里菜	誠愛リハビリテーション病院	
		：2013年7月			：2013年8月
山田 和佳	新門司病院	：2013年7月	新開 日香里	誠愛リハビリテーション病院	
野口 優	東筑病院	：2013年8月			：2013年8月
堀川 将崇	介護老人保健施設 博愛苑		末次 啓一郎	福岡和白病院	：2013年6月
		：2013年8月	石本 沙希	福岡和白病院	：2013年7月
清水 香	北九州総合病院	：2013年5月	田中 康平	福岡和白病院	：2013年7月
吉田 れい	北九州総合病院	：2013年6月	櫻井 俊佑	福岡和白病院	：2013年7月
松本 陸	北九州中央病院	：2013年5月	中山 幸平	原病院	：2013年5月
日高 努	三萩野病院	：2013年6月	瀧口 大介	原病院	：2013年7月
白石 好	戸畑リハビリテーション病院		小山 慶子	香椎丘リハビリテーション病院	
		：2013年6月			：2013年6月
浅尾 佳織	戸畑リハビリテーション病院		蘭 文雄	香椎丘リハビリテーション病院	
		：2013年6月			：2013年6月
中野 翔子	西野病院	：2013年7月	妹尾 美咲	香椎丘リハビリテーション病院	
早川 法香	西野病院	：2013年7月			：2013年6月
三苦 祥	西野病院	：2013年7月	村田 友美	香椎丘リハビリテーション病院	
中川 智恵	宗像水光会総合病院				：2013年6月
		：2013年6月	山田 利恵	香椎丘リハビリテーション病院	
有田 裕一	河野粕屋病院	：2013年6月			：2013年6月
照瀬 成美	田川新生病院	：2013年7月	堀川 和馬	香椎丘リハビリテーション病院	
永末 耕大	田川新生病院	：2013年7月			：2013年7月
石坂 早智江	田川新生病院	：2013年7月	渡部 夏子	たたらリハビリテーション病院	
星野 由来	良創夢リハビリの森デイサービスセンター				：2013年6月
		：2013年6月	野口 健太	たたらリハビリテーション病院	
横山 かおり	松岡病院	：2013年6月			：2013年7月

北村 優弥	千鳥橋病院	: 2013年6月			(三萩野病院より)
今川 賢美	千鳥橋病院	: 2013年7月	間部 美智子	自宅	: 2013年7月 (新小文字病院より)
松本 健太郎	高木病院	: 2013年7月	青木 典子	自宅	: 2012年4月 (戸畑けんわ病院より)
今村 珠美	柳病院	: 2013年7月	永田 望	福岡病院	: 2013年3月 (自宅より)
安永 ちひろ	嶋田病院	: 2013年7月	中村 裕美	デイサービスけやき通り古賀	: 2013年1月 (自宅より)
奥村 早紀	聖マリア病院	: 2013年6月	東條 学	飯塚記念病院	: 2013年6月 (堤病院より)
河野 沙耶香	聖マリア病院	: 2013年6月	中原 葉子	青見通所リハビリテーション	: 2013年4月
諸藤 有裕	聖マリア病院	: 2013年6月	伊藤 晃一	介護老人保健施設きんもくせい	: 2013年8月 (共立病院より)
浅香 綾乃	聖マリア病院	: 2013年6月	日高 努	自宅	: 2013年8月 (三萩野病院より)
韓 旻熙	聖マリア病院	: 2013年7月	出永 実	福岡市医師会 成人病センター	: 2013年6月 (福岡山王病院より)
平良 知子	聖マリア病院	: 2013年7月	川添 徹	済生会 二日市病院	: 2012年10月 (済生会 八幡総合病院より)
桐木平 亮子	聖マリア病院	: 2013年7月	堀内 勅男	栄光病院	: 2013年5月 (早良病院より)
川口 洋平	八女リハビリ病院	: 2013年8月	宇都宮 しのぶ	デイサービスセンターあいあい 高木	: 2013年8月 (デイサービスセンターあいあい 吉塚)
川中 雅美	八女リハビリ病院	: 2013年8月	池尻 奈美	サンライズ壱岐	: 2013年4月 (福岡リハビリテーション病院より)
倉員 有紀	八女リハビリ病院	: 2013年8月	江島 知代	アップルハート訪問看護ステーション福岡	: 2013年4月 (博愛会より)
富永 紘史	柳川リハビリテーション病院	: 2013年6月	大平 紀子	訪問看護ステーション 紙風船	: 2013年5月 (地域活動支援センター I 型ぷらっと より)
青柳 賢治	柳川リハビリテーション病院	: 2013年6月	吉田 愛仁	訪問看護ステーション千代	: 2013年7月 (ふれあい介護ステーションより)
川波 宏枝	柳川リハビリテーション病院	: 2013年6月	岩永 有理	自宅	: 2012年3月 (福岡リハビリテーション専門学校より)
越田 梨絵	柳川リハビリテーション病院	: 2013年6月	高山 和規	就労移行支援センター リプロ	: 2013年4月 (久留米リハビリテーション病院より)
田中 良太	柳川リハビリテーション病院	: 2013年7月	白川 章子	聖ヨゼフ園	: 2013年6月 (おおやこどもクリニックより)
川上 実花	白川病院	: 2013年7月	藤木 智子	やながわ訪問看護ステーション	: 2013年5月 (柳川リハビリテーション病院より)
藤島 ありさ	久留米大学医療センター	: 2013年7月	原 麻理子	国際医療福祉大学 福岡保健医学部	: 2013年8月
古賀 みなみ	金子病院	: 2013年6月			
西森 春奈	こぐま学園	: 2013年6月			
間々田 毅徳	大牟田保養院	: 2013年5月			
中村 恵美	大牟田市立病院	: 2013年4月			
原田 航輔	聖ヨゼフ園	: 2013年5月			
山下 寿和	介護老人保健施設うきは	: 2013年6月			
中原 雅美	久留米リハビリテーション病院	: 2013年5月			
三角 美郷	新船小屋病院	: 2013年8月			
荒金 直樹	自宅	: 2013年6月			
< 県内移動 >					
伊東 育美	産業医科大学若松病院	: 2013年4月 (九州栄養福祉大学より)			
榎本 めぐみ	北九州湯川病院	: 2009年5月 (自宅より)			
平田 圭子	九州栄養福祉大学リハビリテーション学部	: 2013年4月 (専門学校九州リハビリテーション大学校より)			
奥 ゆかり	九州栄養福祉大学リハビリテーション学部	: 2013年4月 (専門学校九州リハビリテーション大学校より)			
峯 澄子	自宅	: 2013年7月			

(白十字病院より)
 松永 ゆり子 菅原病院 : 2013年8月
 (大牟田共立病院より)
 川原 大和 筑後市立病院 : 2013年8月
 (久留米大学病院より)
 柳原 善致 高邦会デイサービスセンター
 : 2013年6月
 (やながわ訪問看護ステーションより)
 高森 美和子 介護老人保健施設サンダイヤル
 : 2013年8月
 (介護老人保健施設 城山荘より)



<退会者>

古川 昭人 : 2013年5月
 奥田 誠 : 2013年6月
 川口 友美 : 2013年8月
 川口 未来 : 2013年6月
 坂田 瑠美 : 2013年6月
 平野 博文 : 2013年6月
 林 裕美 : 2013年7月

会員の皆様へ

これまで、会員の皆様の異動状況を会報にて報告してまいりましたが、「事務所へ報告はするが、会報への掲載は望まない」という要望もごございます。

異動等の報告の際、会報への掲載を希望されない場合は所定の用紙（異動届等）にその旨ご記入ください。



異動の際の手続きについて

職場・自宅等の変更のあった方は、必ず文書で県協会事務局へご連絡下さい。

協会ホームページ (<http://www.fuku-ot.org/>) へアクセスし、入会・異動・退会の項から届出用紙をダウンロードして下さい。

用紙に異動前・後の施設名、郵便番号、住所、電話番号を明記して下さい。自宅住所の変更もお忘れなくお願いします。

ご不明な点は、福岡県作業療法協会事務所までお問い合わせ下さい。

TEL 093-952-7587

編集後記

編集後記

2020年のオリンピック開催地が東京になりました。そこで、僕も全然関係ないけどジムにいて体を鍛えることにしました。服を脱ぐとはち切れんばかりの腹が・・・もはや肉塊となった腹を見つめ、2020年にむけてEXILEの一員になれるような体作りを目指していこうと心に誓いました。2020年といえば私も47歳・・・作業療法士としては円熟しまくってはますが、体だけでなく作業療法士としての技術も一層磨きをかけたいと思います！（S沼）